

大の記

全

大の記

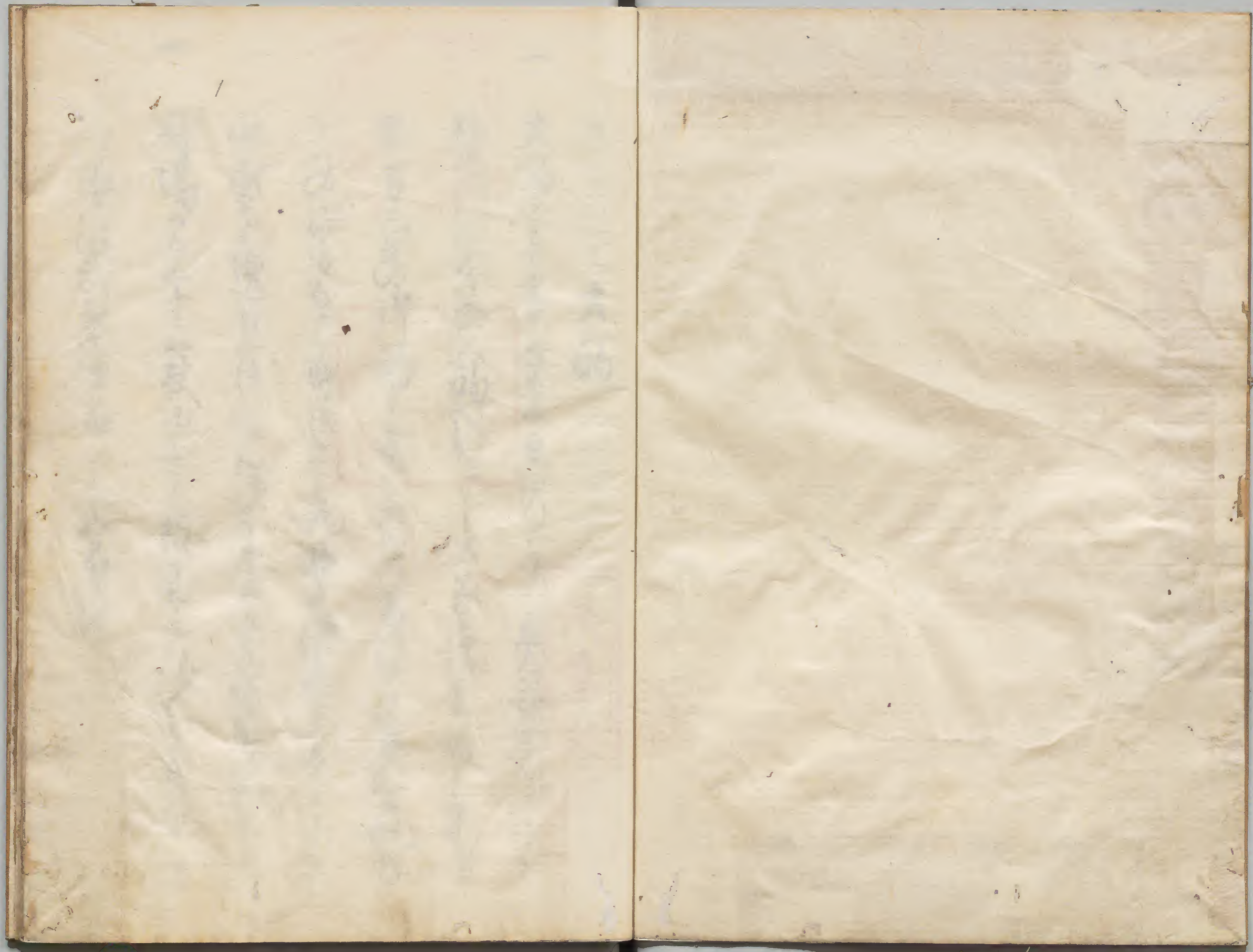
弓術秘傳書

共廿四本

内閣文庫			
番號	和	24746	和書
冊數	24	(2)	類
函號	154	216	

内閣文庫	
番號	和 24746
冊數	24 (2)
函號	154 216





大的

浅草文库

一 大的とは事柄を大に考へる事柄なり

如也 此の今の大的は公家一統の事柄なり

公家の沖的も是を以ていふ事柄なり

その由はるる如し 元禄の出来と云ふ事柄

正徳の逸史代二傳は是なり也

一 村場百二十之杖少少一校を以て大的を云ふ事

一 教塚の式部事柄なる事柄の時は教塚有也

とる海とも通る心こし下三横は細りしとる事は

南射^{アサキ}の右側と見え白布^{サキ}射^{サキ}を射布例ふ

心^{フエ}の的を流し掛る射場的の時は流し海射^{サキ}

とる射^{サキ}は御引始なり出れりもく少引後終る

彼大的^{サキ}事^{サキ}を公射^{サキ}の射布^{サキ}は射^{サキ}の事^{サキ}に

御門^{サキ}の射^{サキ}に射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

海^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

彼^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

蝉^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

的^{サキ}の子^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

射^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

弓^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

とも常^{サキ}射^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

らの射^{サキ}の射^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}の事^{サキ}に

十法を記しありては之を記し白注けし

一 矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

是亦羽也

一 彈のしりぬりけと注し或は羽切せし事

矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢はしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢注

一 下馬のしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢を記しありては之を記し白注けし

一 矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢注

一 矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

一 矢のしりぬりけと注し或は羽切せし事

用とせりしに秋山田中宗茂侯と申す之度より其
討つるに例は法外に裁断を判じ其
裁断判付とせらる

一 弓折りやちて常のよも外は法外と
強切候

一 弓無慮と云ふは^{おみ}入るに取らぬは是
矢の^{矢七}矢あや工えりて

一 百名は特家卒のトしお候と申すは
似り用由古より討つるに
し

一 隊は^隊隊の時のと人し言はせ

一 之例のより右に裁断を判じ其
白鞘を^{白鞘}下りて等持院殿の御所に
沖を^沖とらりて長きに御
庭を^庭とらりて御
中を^中とらりて



